

教育シンポジウム in 東京 2018 (第22回)

特別支援教育サテライトイベント

通常学級における学習上の「困難さ」と合理的配慮

—新学習指導要領の考え方と支援の手立て—

子どもと若者のミカタ、教育を中心に幅広く活動するジャーナリストと
文部科学省の調査官が、最新の情報を基に特別支援教育の「今」と「未来」を語ります！



田中 裕一 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官（発達障害専門）

大学卒業後、企業に就職して社会人野球チームに所属。知的障害者の施設での勤務後、兵庫県立の知的障害特別支援学校の教師に。務める傍ら、兵庫教育大学大学院を修了し、国立特別支援教育総合研究所特別研究員として研究を行う。その後、兵庫県教育委員会指導主事を経て現職。特別支援教育士スーパーバイザー。



品川 裕香 教育ジャーナリスト・編集者

大学卒業後、出版社で雑誌・書籍の編集者として勤務。2000年に独立し国内外の教育現場（いじめ・不登校・虐待から発達障害など特別支援教育、矯正教育まで）を予防的観点から多角的に取材執筆。内閣教育再生会議委員をはじめ文部科学省中央教育審議会企画特別部会、同教育課程特別支援教育部会委員ほか公的委員を歴任。日本にディスレクシアを紹介した『なまけてなんかいい！』シリーズ（岩崎書店）ほか著書多数。

プログラム

時間は目安です。
参加申込書・総合プログラムの情報は、中央教育研究所ホームページをご確認ください。

【行政レクチャー】 12:50～

田中 裕一 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官

【実践報告】 13:30～

齋藤忍 十文字学園女子大学人間生活学部児童教育学科/特別支援教育センター准教授
「通常学級で生かせる授業のユニバーサルデザイン」
授業改善の工夫や基礎的環境整備、合理的配慮の具体的事例を紹介します。

【講演】 14:30～

品川 裕香 教育ジャーナリスト・編集者

【トークセッション】 15:25～

品川 裕香・田中 裕一

※敬称略

日時……平成30年2月18日(日)
受付開始12:15 開会12:45 16:30閉会予定

会場……東書ホール(東京書籍)東京都北区堀船2-17-1

主催……公益財団法人 中央教育研究所(TEL:03-5390-7488)

後援……東京都教育委員会、茨城県教育委員会、神奈川県教育委員会、群馬県教育委員会、埼玉県教育委員会、千葉県教育委員会、栃木県教育委員会、長野県教育委員会、新潟県教育委員会、山梨県教育委員会、東京都北区教育委員会、株式会社 時事通信社、東京教育研究所、株式会社 学習調査エデュフロント

参加費……2,000円 ※総合プログラム参加者は、1,000円で入場いただけます。

定員……150人 ※定員になり次第締切(定員に達した場合のみ、お断りのご連絡をいたします。)
※参加は、教職員、教育行政関係者、学校関係者および学生・院生に限らせていただきます。

申込……FAXまたはメールにて ※総合プログラムの裏面「参加申込書」参照
件名を「【特別支援】申し込み」とし、お名前・ご所属・ご住所・お電話番号・e-mailアドレスをご記入の上、お申し込みください。

FAX 03-5390-7489 **Mail** chu-ken@nifty.com

※ご記入いただいた個人情報は、本シンポジウムの企画・運営に関わる業務においてのみ使用します。

